

子ども議会会議録

日 時 令和5年 8月 2日 (水)

開会時間 午後 1時00分

閉会時間 午後 2時16分

場 所 加賀市役所 議場

議 長

子ども議長 西山 莉央

質問者

子ども議員 西 清花 子ども議員 宮崎 碧

子ども議員 高田 環菜 子ども議員 北田 由理

子ども議員 本 拓真 子ども議員 湯谷 育未

子ども議員 竹中 志織 子ども議員 上口 一生輝

子ども議員 富永 亜南 子ども議員 小出仙 壱正

子ども議員 南出 陽輝

補佐役議員

議 長 稲垣 清也 副 議 長 (司 会) 辰川 志郎

議 員 上野 清隆 議 員 若林 高

議 員 荒谷 啓一 議 員 一色 眞一

議 員 東野 真樹 議 員 中川 敬雄

議 員 南出 貞子 議 員 上田 朋和

議 員 中谷 喜英 議 員 林 直史

議 員 山口 忠志 議 員 今津 和喜夫

議 員 林 茂 信

議 員 林 俊 昭
(欠 席)

議 員 川 下 勉

出席説明員

市 長 宮 元 陸
(欠 席)

副 市 長 深 村 富士雄

会 計 管 理 者
兼 会 計 課 長 米 屋 郁 代

総 務 部 長 水 井 勇 一

政 策 企 画 部 長 岡 田 隆 之

イノベーション
推 進 部 長 山 内 智 史
(欠 席)

市 民 健 康 部 長 奥 村 清 幸

産 業 振 興 部 長 永 田 祥 二

建 設 部 長 嶽 野 一 義

上 下 水 道 部 長 柴 田 義 徳

山 中 温 泉 支 所 長 新 家 直 樹

秘 書 課 長 新 家 邦 弘

財 政 課 長 奥 野 俊 雄

医 療 セ ン タ ー
管 理 部 長 兼 看 護
学 校 事 務 局 長 蔦 秀 和

代 表 監 査 委 員 浅 井 廣 史

監 査 委 員
事 務 局 長 西 山 英 明
(欠 席)

教 育 委 員 会 長
教 育 長 島 谷 千 春

教 育 委 員 会
事 務 局 長 堀 川 夏 雄

消 防 長 市 村 公 一

会 議

開 会 挨 拶

子 ども 議 会

講 評

会 議

開 会 挨 拶

○辰川副議長 定刻となりましたので、令和5年度子ども議会を開催いたします。

開会に先立ちまして、稲垣加賀市議会議長が御挨拶申し上げます。

○稲垣議長 皆さん、こんにちは。

加賀市議会議長の稲垣でございます。

子ども議員の中学生の皆さんには、貴重な夏休みの期間にもかかわらず、御参加、御出席をいただきまして誠にありがとうございます。

この子ども議会は、過去に小学生、中学生、高校生を対象とした議会を実施しており、今回で4回目の開催ということになります。

今回は中学生ということもあり、皆さんにとって最も関わりの深い学校や教育に関する問題をはじめ、未来型商業エリアや市のお祭りやみこしの継承など、加賀市が抱える様々な課題についての質問が事前に通告されております。これらの質問に対し、市当局の皆さんは、できるだけ分かりやすい答弁となりますよう御配慮をお願いしたいというふうに思います。

本日、宮元市長も皆さんに答弁することを大変楽しみにしておりましたが、残念ながら新型コロナウイルスに感染したということで、自宅で療養中でございますので、皆さんによろしくということでお言葉をいただいております。

この場をお借りし、市当局の皆さんにこのような機会をいただきましたことを改めて感謝を申し上げるとともに、前向きな答弁を期待しております。

さて、子ども議員の皆さんにとっては、日頃から加賀市に対して抱えている疑問や意見について、市当局に対し直接質問できる貴重な機会であります。自分の質問に対する答弁だけではなく、ほかの子ども議員の質問とその答弁にもしっかりと耳を傾け、一人一人の加賀市に対する視野を広げる機会にさせていただければと思います。皆さんの持つ若い感性と視点から、自分の夢や希望を交えた率直な意見を堂々と、かつはつらつと発言していただくようお願い申し上げます。

本日の子ども議会が、皆さんにとって有意義で充実したものとなりますよう心から御期待をし、加賀市議会を代表しての開会の御挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

子 ども 議 会

○議長（西山莉央君） ただいまから加賀市子ども議会を開会いたします。

本日、議長を務めます山代中学校3年、西山莉央です。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の会議を開きます。

これより、私たちが暮らすふるさと加賀市の将来やまちづくりについて、私たち中学生の視点から、加賀市政に対する一般質問を行います。

通告がありましたので、順次、発言を許します。

上口一生輝君。

○上口一生輝君 片山津中学校2年、上口一生輝です。

1つ目に、片山津温泉の足湯に設置してある黄色いコップについて質問します。

足湯に設置してある黄色いコップは、みんなが口をつけて飲んでいて、とても衛生的だとは思えません。

そこで提案したいのですが、使い回しのものではなく、紙コップにしてはどうかと考えます。紙コップであれば、1回取った時点で自分のものになるし、新型コロナウイルスなどの感染症予防策にもなると思いますが、市の考えをお聞かせください。

○議長（西山莉央君） 深村副市長。

○深村副市長 宮元市長は、先ほど稲垣議長からお話がありましたように療養中でございますので、代わって私のほうからお答えさせていただきます。

足湯に設置してあるコップについてお答えいたします。

足湯のコップにつきましては、以前、試験的に紙コップとごみ箱を設置したことがあります。しかし、紙コップがごみ箱に捨てられずに芝生や足湯周辺に捨てられたり、利用者のマナーの悪さが大変問題になりました。このような状況を踏まえまして、地域の公園を美しく保ち、環境への配慮を大切にするという道徳的な観点から、紙コップの使用を取りやめまして、現在設置してある黄色のコップに戻したという経緯があります。

以上の理由から、紙コップの設置はなかなか難しいと考えていますが、現在は少し落ち着いておりますコロナ禍の経験も踏まえまして、コップの衛生面において問題が生じないように、早急に管理を行っております地元のまちづくり推進協議会などのメンバーで構成されております砂走公園あいあい広場管理委員会と相談を行ってまいりたいと思います。

以上でございます。

○議長（西山莉央君） 上口一生輝君。

○上口一生輝君 2つ目に、あいあい広場のポイ捨てについて質問します。

私がいあい広場に行くと、よくごみがポイ捨てされています。ごみのポイ捨てをなくすためにも、まずごみ箱を設置することを提案します。

また、現在設置してあるポイ捨て禁止の看板も、もっと目立つところに設置すべきだと思います。

少しでも広場からごみがなくなれば、みんなが気持ちよく遊べるようになるはずです。早急に検討してポイ捨てが減るようにすべきだと考えますが、市の考えをお聞かせください。

○議長（西山莉央君） 深村副市長。

○深村副市長 あいあい広場のポイ捨てについてお答えいたします。

御提案のごみ箱を設置することのメリットというのは、ごみが散らかることを防ぐこと、公園を清潔に保つこと、こういったことがあります。一方で、家庭用のごみを持ち込む人が

増えるというような場合であったり、カラスや猫などがごみをあさるということなどのデメリットも実はあります。

加賀市では、自分で出したごみは自分で持ち帰っていただくことといたしております、全ての公園や広場にごみ箱を設置してはおりません。今後につきましても、ごみ箱は設置しないで、市民一人一人がマナーを守って公園を利用していただくようお願いしてまいります。

なお、片山津温泉砂走公園のあいあい広場では、市で芝生管理を行っているほか、小学生や女性団体、老人会、旅館関係の方々など、27の団体が毎週1回交代で足湯の清掃やごみ拾いを行うなど、まちぐるみで公園の美化活動を行っていただいております。

ポイ捨て禁止の看板については、現在設置しておりませんが、公園は私たちの生活に欠かせない場所でございます。公園をきれいに保つためにごみは必ず持ち帰り、また、ベンチや遊具などを大切に扱うなど、ルールを守っていただくことが非常に大切です。公園をきれいに保つことは、私たち市民一人一人の責任でございます。中学生の皆さんもルールを守って公園を大切に使うことで、気持ちよく利用していただきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（西山莉央君） 上口一生輝君。

○上口一生輝君 以上で、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（西山莉央君） 上口一生輝君の質問及び答弁は終わりました。

高田環菜君。

○高田環菜君 東和中学校3年、高田環菜です。

今年初めに制定された加賀市学校教育ビジョンに関連して質問いたします。

加賀市では、今年初めにBe the Player、「自分で考え 動く 生み出す そして社会を変える」をスローガンに掲げた新しい加賀市学校教育ビジョンがスタートしました。その中では、個々の可能性を最大限に伸ばす教育方針が掲げられています。

そこで提案ですが、より学びたい気持ちを後押しさせる制度を取り入れるのはどうでしょうか。選択授業制度を設けて、自分の興味や関心に応じて授業を選択できるようにし、学習の充実と資質の向上を目指すことができればよいと思います。例えば理科の授業が得意で、より深く学びたいと思っている生徒には、その選択授業の時間で、授業中には行うことができなかった応用的な実験に取り組むことが可能になるとよいと考えています。

自発的に授業を選択することで、自ら学ぶ自主性を身につけ、考える力や探求心を育むことができると思いますが、市の考えをお聞かせください。

○議長（西山莉央君） 島谷教育長。

○島谷教育長 未来の教育ビジョンについてお答えいたします。

加賀市学校教育ビジョンで大切にしていることは、高田議員御指摘のとおり一人一人の可能性を最大限開花させる教育を実現することです。そのため高田議員御指摘の選択授業制度を目指すお考えとビジョンが目指す方向性は一致しており、ぜひともそういう環境に一歩で

も近づきたいと、市としても考えております。

教育施策を考える上で重要なことは、教職員の人的資源や時間など、教育に充てられる資源をどう配分していくのか。また、法令との整合性がきちんと取れているかどうかということがあります。具体的に申し上げますと、年間で限られた授業時間の中で、国で定められたカリキュラムをいかにクリアするのかということのを両立させながら考えていく必要があります。

加賀市学校教育ビジョンでは、こうした制約条件の中でも、子供一人一人の可能性を最大限開花させる教育を実現するために、まずはこれまでの教師主導の一斉型の授業から、子供が主役になる授業に転換し、授業についていけない子が置き去りにならないように、また、授業の内容の理解が早い子供が待ち続けることがなく新しい学びにどんどんチャレンジしていけるよう、自分のペースで学び、学び合えるようなスタイルの授業を増やしていくことを目指しています。

さらに、2学期からは市内の全小・中学校では新たにAIドリルを導入する予定であり、個々の興味、関心に応じた学びも進めやすい環境になります。

このような取組が進んでいくと、生徒が自ら選択する幅もどんどん広がっていくことになり、高田議員御指摘の状況にも近づいてくると考えております。

引き続き学校現場を最大限バックアップしながら、加賀市学校教育ビジョンの実現に向けた取組を進めてまいります。

以上でございます。

○議長（西山莉央君） 高田環菜君。

○高田環菜君 以上で、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（西山莉央君） 高田環菜君の質問及び答弁は終わりました。

西 清花君。

○西 清花君 錦城中学校3年、西 清花です。

テニスコートの改善について質問します。

錦城中学校のテニスコートは、クレーコートと言って、人工芝ではなく、土のコートです。学校にテニスコートが4面以上あるのはとてもありがたいことだとは思いますが、問題があります。水はけがとても悪く、前日の夜に少し雨が降っただけでコートに水たまりができてしまい、テニス部の部員が練習できなくなります。そして、コートの砂に大きな石が紛れていて、けがをしそうになったという部員も数人います。

また、コートのラインは白帯でできているのですが、コートの砂がすり減ったりして白帯が浮き出てしまっている箇所が複数あり、ボールが不規則にバウンドします。そして、ネットがたるんでいたり、大きな穴が空いていたりします。

このままでは練習に支障が出るため、早急な対応をすべきと考えますが、市の考えをお聞かせください。

○議長（西山莉央君） 島谷教育長。

○島谷教育長 テニスコートの改善についてお答えいたします。

錦城中学校のテニスコートについては、実際に私も見に行きましたが、西議員御指摘のとおり水はけが悪く、土が減るなど、劣化が進んでいる状況を確認しております。きっとイレギュラーバウンドが多かったり、滑りやすかったりと、不都合を感じる場面も多々あるのだろうと、私も同じソフトテニス経験者としてよくよく理解をしております。

このような屋外活動の場の劣化はテニスコートに限らず、多くの小・中学校の屋外運動場についても同様に進んでいる状況でございます。屋外運動場は、体育の授業や運動会などに使用されるほか、災害時の地域の避難場所としても活用されることから、現在、市では、劣化が著しいみんなが使う屋外運動場の改修工事を優先して行っている状況です。

このような中で、テニスコートの全面的な改修工事をすぐに行うことは難しい状況でございますが、けがにつながるような危険な箇所については早急に対応したいというふうに考えております。

また、学校内の施設全般の改修等については、皆さんが安心して勉強や部活動に打ち込めるよう、優先順位をつけて順次、しっかり整備をしていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（西山莉央君） 西 清花君。

○西 清花君 以上で、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（西山莉央君） 西 清花君の質問及び答弁は終わりました。

富永亜南君。

○富永亜南君 片山津中学校2年、富永亜南です。

「片山津中学校にオアシスを」について質問します。

私は、片山津中学校の前にある芝生に日陰になるようなテント、またはあずまやを建てることを提案します。理由としては、スワトン保育園の園児たちはよく片山津中学校に遊びに来ます。その際、遊びに夢中になり過ぎて熱中症になってしまったりと、木陰での休憩が必要になると思ったからです。

また、このような施設があると、中学校の生徒も一緒に園児と遊べますし、暑いときは休憩もできます。そして、中学生にとっても憩いの場になると思います。

このように片山津中学校にオアシスを造ることで、生徒と園児が交流でき、心穏やかに過ごせると思います。

以上の理由から、ぜひ片山津中学校にオアシスとなるような施設を造ってください。ぜひ市の考えをお聞かせください。

○議長（西山莉央君） 島谷教育長。

○島谷教育長 「片山津中学校にオアシスを」についての質問にお答えいたします。

片山津中学校の校地内に近くの園児たちとの交流を図るための施設を造りたいという御提案は、とてもすばらしい考えだと感じております。片山津中学校の皆さんとスワトン保育園

の園児たちが仲よく交流を図ることは、中学生の皆さんにとってはホスピタリティ・マインド、人をもてなす心を育んだり、自分の成長を改めて見詰め直したりするととてもよい機会となると考えます。また、園児たちにとっても、皆さんと過ごす楽しい時間は、すてきなお兄さんやお姉さんに大切にされるというかけがえのない思い出として、優しさや思いやりを養っていく上で大切な財産になっていくはずです。

そこで、今日の御提案をもう一步発展させ、片山津中学校の皆さんでどんな広場や施設を造るとよいのか、どんな交流を図っていくのがよいのか、どうすれば建設費用や維持の経費などを抑えられるのかなど、知恵やアイデアを出し合ってください、ぜひまた提案をしていただきたいと考えております。これらを考えることも、大切な学びであり、このような経験は、今後の皆さんの人生できっと役に立つというふうに当局としても考えております。

費用等の制約もあり、提案内容を全て実施できないかもしれませんが、皆さんからいただいた提案内容は、ぜひ実現に向けて動いていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（西山莉央君） 富永亜南君。

○富永亜南君 以上で、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（西山莉央君） 富永亜南君の質問及び答弁は終わりました。

南出陽輝君。

○南出陽輝君 山中中学校3年、南出陽輝です。

憩いの場所の有効利用について質問します。

山中中学校と山中健民体育館の間に芝生スペースになっている場所があり、そのスペースは、かつて山中中学校のテニスコートがあった場所でもあります。現在、山中中学校、山中小学校の児童生徒や学童クラブつかたにの子供たちが毎日、遊び場として利用しています。

私は、このスペースをさらに有効活用するために、遊具やウッドチェア、ウッドテーブルの設置を思いつきました。地域の子供たちや小・中学生が共有して活用できるフリースペースを充実するとよいと思いますが、市の考えをお聞かせください。よろしくお願いします。

○議長（西山莉央君） 深村副市長。

○深村副市長 憩いの場所の有効利用についてお答えいたします。

御提案の憩いの場所は、昭和63年に山中健民テニスコートとして整備された場所です。その後、公園部分の整備を行いまして、平成3年3月にテニスコートを含めた区域を加美谷台公園として開設しております。山中中学校の軟式テニス部があった頃までは、部活動で多くの生徒が利用していましたが、テニス部が廃部となった平成19年度以降、利用者が年々減っていつておりました。そういったことから、平成26年度にテニスコートとしての利用は廃止になりました。

御提案いただきました場所に遊具やウッドチェア等を設置すれば、現在より魅力的で使いやすい公園となり、地域の子供たちや小・中学生と一緒に活用できる公園となることが予想

されます。ただ、徒歩3分圏内で遊具やベンチを新しくした日置児童公園がございます。また、近隣の宮の杜公園やかつら児童公園にも遊具などが設置してありますので、加美谷台公園につきましては、今後の利用状況を見ながら設置の必要性について検討いたしてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（西山莉央君） 南出陽輝君。

○南出陽輝君 以上で、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（西山莉央君） 南出陽輝君の質問及び答弁は終わりました。

宮崎 碧君。

○宮崎 碧君 錦城中学校3年、宮崎 碧です。

まつりやみこしの継承について質問します。

私たちの住む大聖寺には、約60年続く大聖寺十万石まつりがあります。先日、講話の授業の中で、少子化や過疎化により、祭りの中で行われている万燈みこしの担ぎ手が年々減少していることを知りました。このままでは万燈みこしが続けられなくなるのも時間の問題で、私自身も危機感を抱かずにはられません。

私は、この生まれ育った大聖寺というふるさと、そして小さい頃からずっと見てきた大聖寺十万石まつりの万燈みこしが大好きです。

これは、大聖寺だけに限らず、加賀市内の様々なお祭りを見ても、同じような現状に直面しています。また、コロナ禍の影響で、祭りやみこしをやめてしまった町内もお聞きします。

祭りやみこしは、地域の活性化と絆を強くするものだと思います。そこで、市として、地域の祭りに対してどのような支援や協力ができるかと考えているのでしょうか。

また、若い年齢からみこしなどに関心を高めたり、関われる機会を増やしていくようなことができるのかをお伺いいたします。

○議長（西山莉央君） 深村副市長。

○深村副市長 まつりやみこしの継承についてお答えいたします。

地域の祭りは、そこに住む人たちの手によりまして、大切に伝えられ、今に受け継がれております。おっしゃるとおり祭りやみこし、また獅子舞などは、その地域を象徴し、住民の誇りとなっているものでございますし、町に一体感をもたらすものであります。

加賀市には、伝統ある祭礼や地域の神社を中心とする祭りだけではなくて、大聖寺十万石まつりのように産業や文化の振興と発展を願って実施されているものもあります。どちらもその地域の人にとっては大切な行事となっております。

市においては、観光誘客を図るとともに地域の魅力もPRできる5つの祭りに対して、開催費用の一部助成を行っております。また、市内には各町固有の多様な獅子舞があります。127の町で獅子舞に使われる獅子頭が確認されております。1つの自治体でこれほど多くの獅子舞や獅子頭を継承していることは大変珍しく、こうした獅子頭やお祭りで使うおみこしな

どの祭礼用具の整備につきましては、購入費用の一部助成を行っております。

今後も祭礼や獅子舞などの伝統文化を継承する取組に対しては積極的に支援してまいりたいと考えております。

ただ、祭りの中で奉納されたり披露されたりするみこしや獅子舞は、担い手不足が深刻な地域もあります。こうした文化は一旦途絶えると再生することが難しく、地域や世代を超えて一緒に祭りに参加し、みこしや獅子舞を体験できる機会を設けることが重要だと考えております。そのためには、加賀市獅子舞を応援する会によります加賀市獅子舞春祭りなど、多くの方に関心を持っていただけるイベントの開催など、地域住民が主体となって伝統文化を継承していくことが不可欠だと考えております。

今後もまちづくり活動や町内活動において、共に知恵を出し合いながら考えてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（西山莉央君） 宮崎 碧君。

○宮崎 碧君 以上で、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（西山莉央君） 宮崎 碧君の質問及び答弁は終わりました。

この際、暫時休憩をいたします。

再開は、午後1時45分を予定しています。

(午後1時31分)

(午後1時45分)

再 開

○議長（西山莉央君） 会議を再開し、休憩前の議事を続けます。

本 拓真君。

○本 拓真君 橋立中学校3年、本 拓真です。

未来型商業エリアについて質問いたします。

計画についてですが、本年度、加賀温泉駅前にアウトレットを含む大規模な商業ゾーンの構想が浮上していると報道がありました。現状、加賀市の商業施設は充実しているとは言い難いと感じます。もしこの構想が実現したら、加賀市の魅力につながるとは思います。どのように計画をしているのでしょうか。

また、現在の土地の所有者の方とはどのように交渉されるのか、市の考えをお聞かせください。

○議長（西山莉央君） 深村副市長。

○深村副市長 未来型商業エリアの計画についてお答えいたします。

加賀市は、加賀温泉駅周辺におきまして、先端技術を活用した新しいサービスや体験などができ、若者やファミリーなどの市民の方々をはじめ、観光客など、加賀市を訪れる方々にも楽しく時間を過ごせて、行きたくなるようなにぎわいのある未来型商業エリアの創造を目

指しております。

先日、新聞報道にありました加賀温泉駅前のアウトレットを含む大規模な商業施設の構想は、加賀市が目指す未来型商業エリアへの提案といたしまして、民間事業者からいただいたものでございます。提案の内容としましては、北陸新幹線の停車駅となる加賀温泉駅に近い立地条件を生かしながら、広域からの観光集客のほか、小松空港からの外国人観光客も見込みまして、主なものとしてアウトレットや免税機能を有する商業施設、ビジネス客を想定したホテルなどを含め、複合型の商業エリアの開発を計画するものでございました。

詳細な構想や開発のスケジュールにつきましては、提案事業者が今年の秋をめどに取りまとめていただけると聞いております。この計画が実現しますと、観光客の増加や新たな雇用の創出、地域のイメージアップによる経済の活性化など、加賀市に様々な好影響を及ぼさだろうと期待しているところでございます。

市としましては、開発に必要な手続や周辺道路の整備などについて協力してまいりたいと考えております。

なお、土地の所有者の方との交渉につきましては、民間事業者から市へ詳細な構想の提出をいただいた後、市が土地の所有者や地元町内会などへその報告を行います。報告で計画へのおおむねの理解をいただきましたら、提案いただいた民間の事業者が、買取りであるのか、あるいは借地であるのか、またその価格といった契約の内容を土地所有者と交渉していくこととなります。

市としましては、若い方々やファミリーが集い楽しめる、わくわくするエリアを創造することで、活気のある明るい加賀市の実現を目指してまいります。

以上でございます。

○議長（西山莉央君） 本 拓真君。

○本 拓真君 次に、交通対策についてですが、利用者向けに公共交通機関も整備が必要だと思いますが、具体的な整備内容についてお伺いします。

また、未来型商業エリア開発に伴う渋滞や騒音等の地域の方々への配慮はどのように考えているのか。観光地としての魅力も大切ですが、地域で暮らす人の生活との両立があってこそその魅力だと思いますので、ぜひ市の考えをお聞かせください。

○議長（西山莉央君） 深村副市長。

○深村副市長 未来型商業エリアの交通対策についてお答えいたします。

民間事業者によるアウトレット等の開発は、2024年春に北陸新幹線が開業する加賀温泉駅の近くの加賀市医療センターから国道8号までの広い農地の一部に予定されております。加賀温泉駅は、公共交通機関であります路線バス、キャンバス、それと、のりあい号が乗り入れる本市の交通結節点でございます。市内、市外を問わず、人々のアクセスがよいエリアでもあります。北陸新幹線加賀温泉駅が開業すると、関東地方などから来られる多くの方々が本市の公共交通を利用すると期待しているところでございます。

さらに、加賀温泉駅の近接エリアに集客力のある未来型商業エリアが実現し、バスやのりあい号の利用者が増え、収益性が確保されることで、既存路線の増便や加賀温泉駅と結ぶ新たな路線の設定など、公共交通の充実を図ってまいります。

また、自家用車などの増加によります周辺道路の混雑なども予想されますので、地域で暮らす皆様の生活への影響を最小限にするため、周辺道路の拡幅や交差点の改良など、適切な対策を検討してまいります。

公共交通の利便性の向上や渋滞の緩和のためには、少しでも多くの方々に公共交通機関を利用してもらうことが重要になりますので、市民の皆さんの公共交通機関の積極的な利用の周知を図ってまいります所存であります。

以上です。

○議長（西山莉央君） 本 拓真君。

○本 拓真君 以上で、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（西山莉央君） 本 拓真君の質問及び答弁は終わりました。

小出仙壺正君。

○小出仙壺正君 山中中学校3年、小出仙壺正です。

山中温泉付近の街灯増設について質問します。

自分の住んでいる山中温泉は、加賀温泉郷の一つで、1300年以上もの歴史があり、近年、観光客数も増えてきています。その山中温泉に住んでいて気づくことがあります。それは、町の街灯が意外に少ないということです。

菊の湯周辺の中心部は、町並みも整備され、街灯も設置されていますが、少し中心部を外れると、意外に街灯が少ないと感じます。大通りは100メートル当たり7本の街灯があるのに対し、町なかから中心部に向かう道は100メートル当たり3本しかありません。

観光客が夜でも安心して事故無く往来をし、山中温泉を満喫できるよう、街灯を増設すべきだと思いますが、市の考えをお聞かせください。

○議長（西山莉央君） 深村副市長。

○深村副市長 山中温泉付近の街灯増設についてお答えいたします。

夜間に町なかを照らしている照明施設は、大きく分けて道路照明灯、それと商店街の街路灯、防犯灯、3つの種類があります。

まず、道路照明灯でございますが、夜間におけます車両や歩行者を認識しやすくし、道路交通の安全を図ることを目的に、道路照明施設設置基準というものがあまして、これに基づいて、交差点やカーブの区間及び横断歩道などに道路の管理者が設置するものです。

次に、商店街の街路灯ですが、商店街の華やかさやにぎわいを演出するとともに、商店街利用者の安全な通行を図ることを目的として、主に商店街の皆さんが整備しております。柱や照明灯に特徴を持たせたり、デザイン灯が利用されたり、設置する数や間隔の基準はありません。

最後に防犯灯ですけれども、夜間の事故や犯罪を未然に防止し、安全・安心なまちづくりの実現のため、町内会などが設置しているものです。

御提案の街灯、多分、防犯灯のことだと思います。加賀市では、各町内会に対して防犯灯の設置助成を行っておりますので、引き続き区長会連合会などを通じまして、制度の利用について周知に努めてまいります。

今後、町内会の御意見を伺いながら対応してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（西山莉央君） 小出仙壺正君。

○小出仙壺正君 以上で、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（西山莉央君） 小出仙壺正君の質問及び答弁は終わりました。

竹中志織君。

○竹中志織君 山代中学校3年、竹中志織です。

学年トイレの修繕について質問します。

山代中学校は、昭和57年に建設され、やがて41年になります。特にトイレ付近の老朽化が進んでおり、去年は4階の蛇口から水が噴き出し、3階の手洗い場の天井から水が漏れたり、今年も3階のトイレの手洗い場の蛇口から大量の水が噴き出し、2階のトイレの手洗い場の天井から漏れて水浸しになりました。コロナ禍の影響で水道の蛇口栓が変更されたことにより、蛇口の扱い方が変わったことも影響しているのかもしれませんが。他箇所でも同じ状況が考えられるので、一度、点検に来てほしいです。

さらに、トイレの悪臭がとてもひどく、落ち着いて勉強に集中できません。これから山代中学校に入学する子供たちのことを考えると、何とかしてあげたいです。

ぜひ一度、私たちのトイレを見て、直していただけるとうれしいです。市の考えをお聞かせください。

○議長（西山莉央君） 島谷教育長。

○島谷教育長 学年トイレの修繕についてお答えいたします。

私も一度現場を見に行きましたけれども、山代中学校の漏水については、竹中議員の御指摘のとおり、昨年、今年と、手洗い場の蛇口が外れたため、漏水が発生し、皆さんに御不便をおかけしたと聞いております。

今回外れた蛇口、レバー式蛇口と呼ばれるもので、取っ手部分が長く、力を入れずに手の甲や肘でも開け閉めが可能で、手や指で取っ手を触る必要がないため、新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年度に市内の多くの小・中学校で整備いたしました。一方で、御指摘のとおり、このレバー式蛇口は従来のものよりも力がかかりやすく、今回、強い力で開け閉めを行ってしまった結果、蛇口が壊れたことから漏水が発生したものと考えております。

今後、同様の漏水が発生しないよう、レバー式蛇口の使用方法については再度、十分に注意徹底をしていきたいと考えております。

また、今回の漏水は、施設の老朽化が直接的な要因ではないと考えていますが、校舎の老朽化が進んでいるのも事実であり、特にトイレは水を使用するため、劣化が進みやすいところ です。悪臭の問題を含め、早急に現地を確認し、必要な対策を行ってまいります。

今後も皆さんにはトイレを大切に使用していただくようお願いいたします。

以上でございます。

○議長（西山莉央君） 竹中志織君。

○竹中志織君 以上で、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（西山莉央君） 竹中志織君の質問及び答弁は終わりました。

湯谷育未君。

○湯谷育未君 橋立中学校3年、湯谷育未です。

年に1度の校舎清掃について質問します。

橋立中学校は、平成24年に新校舎となり、加賀市の中学校では最も新しい建物です。きれいな校舎で学校生活を送ることができている現状は、私たちにとってありがたいことなので、日々の清掃できれいを保とうと努めています。

しかし、私たちの清掃は週3日の10分間で、それだけでは足りないところがあります。また、小中併設校なので、小学生の掃除場所では高いところを行うのは難しい部分もあります。

そのため年に一度だけ、清掃業者の方に校舎の手の届かないところの清掃や整備を依頼できないのか、またはしていただけないのか。専門の方に行ってもらうことで一層きれいになる上、私たちのふだんの清掃の意欲も高まると考えます。

さらなる学校生活の充実に向け、市の考えをお聞かせください。

○議長（西山莉央君） 島谷教育長。

○島谷教育長 年に一度の校舎清掃についてお答えいたします。

湯谷議員御指摘のとおり、子供の力では清掃が難しい場所もあります。そうした現状を踏まえ、各学校には学校校務員を配置し、トイレ掃除をはじめ校内の清掃業務や環境整備業務などを行っております。

また、各学校では、保護者の皆様のお力もお借りし、PTAの奉仕作業などで校舎の環境整備や美化に努めてきております。

学校の環境は、皆さんの健康や学習にとってとても大切な要素でありますので、学校生活のさらなる充実に向けて、専門業者による年に一度の校舎清掃について、どのような作業を業者をお願いすべきかを検討し、実施に移していきたいと考えております。

自分たちや地域の皆さんにとって大切な校舎を保護者や地域など多くの方々の協力も得ながら、長くきれいに保っていくよう、市としてもしっかりと努めていきたいと考えておりますので、ぜひ皆さんも学校を自分の家以上にきれいにしようとする気持ちを持ちながら日々の清掃活動に一生懸命取り組んでいただければと考えております。

以上でございます。

○議長（西山莉央君） 湯谷育未君。

○湯谷育未君 以上で、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（西山莉央君） 湯谷育未君の質問及び答弁は終わりました。

北田由理君。

○北田由理君 東和中学校3年、北田由理です。

市政への若者参画について質問します。

最近、加賀市は高齢化が進んでいて、議員も高齢者が多くなっていると思います。その結果、政策も高齢者向けのもが多く、若者たちへの政策が少なくなっているのではないかと思います。

今、高齢化の時代に若者の意見を取り入れた政策を考えていかないと、若者が流出し、高齢者の比率が増えて、人口減少につながり、加賀市は消滅してしまいます。

そこで、お尋ねします。

議員の高齢化を止めることはできませんか。

また、若者の意見をもっと取り入れてもらえませんか。中でも、結婚していない20代の方に対する政策が少ないので、20代の方の意見を聞いてみてはどうかと思いますが、考えを聞かせてください。

○議長（西山莉央君） 稲垣議長。

○稲垣議長 本来は、議員は答弁台に立つことはないのですが、北田議員の率直な御質問でございますので、議会を代表してお答えをさせていただきたいと思います。

市政への若者参画についてお答えいたします。

初めに、市議会議員の高齢化についてお答えいたします。

現在、加賀市議会では17人の議員が在籍しており、平均年齢は62.2歳であります。石川県内の市議会議員の平均年齢の63.4歳に比べると1.2歳若いという数値であります。また、日本全体の2022年の平均年齢は48.6歳でありますので、その方面から比較すると高齢化と言えるのではないかというふうに思います。ただ、被選挙権は25歳からということでございます。

基本的には、議会としては広く市民の皆さんからの御意見をお聞きしていくためには、若手からベテラン議員までバランスよく構成されるということが重要であるというふうに考えております。ただ、近年においては、全国においても、地方議員の高齢化や成り手不足が課題となっており、当市議会でも危機感を持っているところではあります。

そこで、加賀市議会では、若い世代の方々に議会や市政への理解と関心を高めていただくことが重要であるというふうに考え、本日のような子ども議会や高校生との意見交換会の開催、また、議会報告会においてグループトークなどを取り入れて、市民との政策立案、さらにはインスタグラムやYouTubeを活用しての議会広報など、様々な議会改革にも積極的に取り組んできました。

その結果、議会改革度ランキングというものがあるんですが、全国1,416の自治体中、全国

第4位という高い評価も受けております。

これらの議会改革の成果によって、市民の皆さんや、特に若い世代の方々に議会や市政に対してこれまで以上に興味を持っていただければありがたいなというふうに思っております。

しかしながら、実際に議員になるためには、当然、選挙で当選することも必要であり、さらに若い世代が議員に挑戦をするには、年金や退職金もなく、将来の身分保障に対する不安が最も大きな障害になっているのではないかというふうに考えております。

そこで、加賀市議会においても、2年後の次の選挙に向けて、若者やサラリーマンなど多様な人材が選挙に立候補しやすい環境となるよう検討を開始する予定でございます。

ぜひとも将来、ここにいる皆さんの中からも我々と一緒に地域の代表として選ばれ、そして、議会活動に取り組んでいただければ幸いだなというふうにも思っています。その頃、我々はいませんけれども、恐らく。

次に、若者の意見をもっと取り入れるべきという御意見についてお答えいたします。

現在、加賀市においては、デジタル技術の活用によって、人口減少や少子高齢化などの地域課題を解決する施策や加賀温泉駅前の、先ほどからお話にありました未来型商業エリアの整備による産業振興に関する施策などに取り組んでおります。

また、市議会においては、皆さんの保護者の方々に当たる子育て世代の方々との意見交換会を開催し、若い世代からの御意見もお聞きする機会をつくってきております。過去には、大聖寺実業高等学校の高校生からいただいた図書館の利用に関して、もっと使いやすく利便性の向上を図るアイデアを市長に提案し、施策として実現した例もあります。また、今回の市内にショッピングセンターとか小さな子供たちが遊ぶ室内施設が欲しいというふうな声も市政に届けてきました。

まずは20代の未婚の世代の方々に政治に興味を持っていただくことが重要でありますので、市議会といたしましては、SNSなどによるさらなる広報活動の強化を図った上で、御提案のあった20代の未婚の世代の方々との意見交換会を開催し、より積極的に若者の意見を施策に反映するよう市長等に提案していきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（西山莉央君） 北田由理君。

○北田由理君 以上で、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（西山莉央君） 北田由理君の質問及び答弁は終わりました。

子ども議員の加賀市政に対する一般質問は、全て終わりました。

以上をもって、本日の議事全部を終了いたしました。

子ども議員の皆さん、本日は大変お疲れさまでした。

私たち中学生が日頃から思っている疑問や意見が市当局に十分伝わったことと思います。また、深村副市長、島谷教育長、稲垣議長におかれましては、丁寧な御答弁ありがとうございました。

最後に、今回の子ども議会の開催に当たって補佐をしていただいた市議会議員の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

子ども議会は、これをもって閉会いたします。

講 評

○辰川副議長 以上で、子ども議会の議事は全て終了いたしました。

ここで、深村副市長より講評をいただきたいと存じます。

深村副市長、よろしくお願いします。

○深村副市長 皆さんの質問に答弁しながら、大事なポイントを突いているなというふうに、実はどきどきしながら聞いておりました。中学生らしい生活感に満ちた質問で、しかも堂々としていらっしゃいました。はっきりとした声を出していただいて、私どものほうもびっくりするぐらいの質問であって、ほとんど感心したところでございます。

特に、データを上げて、危機感を持ちながら質問されていた、それぞれの質問には、私どもとしては、これはぜひ我々もなお一層勉強しなければいかんなど、中学生に負けていられないなというぐらい思いを新たにしたところです。

ところで、議会は地方公共団体、市ですが、地方公共団体の事業などについて、その意思を決める最も大切な場所です。市民から選ばれた議員たちが御自分の意見や主張を基に、市長や教育長など市の行政側、我々のほうですが、質問し、今ほど皆さんからありましたように提案し、そして議論をしながら市の予算や方針、ルールなどを民主的に決めていくところです。

ところで、質問という漢字の質という漢字を訓読みするとどうなるか、御存じだと思いますけれども、これは「ただす」と読みます。ですから、質問するというのは、市議会議員の皆さんが御自分の考えを示しながら、これで正しいのか、こういった質問の姿勢でもって、私どもに思いをぶつけていただいているというふうに私は考えております。その意味で、私たち行政側の立場にいる者としましては、市民の代表でございます市議会議員の皆さんに対しては、その思いに対しては、丁寧に正確にお答えしなければいけないと思っている次第です。とりわけ今回、中学生の皆さん方から御質問をいただくことになったわけですが、改めてその思いを新たにしたというところでございます。

さて、皆さんには、私たち行政側の答弁を聞いてどう思ったのでございましょうか。今回の質問と答弁をぜひもう一度確認していただきまして、友達と話し合っただければと思います。

稲垣議長も触れておりましたが、将来、市議会議員として再び質問していただくことを期待して、講評といたしたいと思っております。今日はどうも御苦勞さまでございました。

○辰川副議長 深村副市長、ありがとうございました。

これにて、子ども議회를終了いたします。

なお、子ども議員の皆様、深村副市長、島谷教育長、稲垣議長、補佐役議員におかれましては、この後、記念撮影を行いますので、そのままお待ちください。